

# 2019年度森林公園だより No.1 2019年10月11日

朝晩の気温差が大きくなっています。日中は汗をかくほどの暑さになりますので、引き続き水分補給をこまめにしてください。10月10日時点で、ツクツクボウシやチッチゼミの鳴き声を確認しています。園内には多くのキノコが発生しています。キノコとは、菌類が胞子を形成する器官で、「子実体」と言われます。植物で例えると花や実に対応する部位です。倒木や地面、落ち葉、木の根などに菌糸がはびこり、周囲から栄養を吸収しながら成長し、機が熟すと一気に子実体(キノコ)を形成して胞子を飛ばします。キノコは栄養の取り方で大きく3つに分けることができます。1つは植物や昆虫に寄生する寄生菌類、2つ目は木材や落ち葉、死体を分解する腐生菌類、3つ目は木の根にとりつき、木に水や養分を渡して木から有機養分をもらう菌根菌です。見た目はとても地味だったり、気味悪がられがちですが、森林を取り巻く物質循環、生態系に非常に大きな役割を果たしています。キノコをじっくりと観察する散策も面白いかもしれません。

キノコ(種類等不明)



根本の菌糸



根元の菌糸(拡大)



ヒマラヤスギ



ヒマラヤスギの根元(キノコあり)



アイバシロハツ(菌根菌)



アイバシロハツ



柄上部拡大写真



切断面



## 一口メモ

今回特に取り上げたアイバシロハツは針葉樹や広葉樹と共生する菌根菌です。

アイバシロハツによく似た種類は数多くありますので、慎重に検討しました。

柄の特徴: 上部が薄く青みがかっていて、上から下に向かって細くなりまたぎっしりと中身が詰まっている

傘の特徴: 漏斗状で、内巻きになっている、ぬめりは確認できない

ヒダ(傘の裏側)の特徴: 密で薄く青みがかっている

におい: 感じることはない

その他: 切っても乳液が出ない

キノコは多くの要素を一つ一つ確認し、慎重に同定なければなりません。希望的観測で食べると命にかかわることもありますので、絶対にしないようにしましょう。